

柴田健雄様

このたびは、「市長への手紙」をお寄せいただきありがとうございました。

大規模スポーツ施設（京都府の専用球技場）につきましては、スポーツを通じた青少年の健全育成や経済活動の活性化、にぎわいあるまちづくりにつながり、府域全体の均衡ある発展にも大きく貢献するとして誘致したものです。

同施設は、サッカーのみならず、ラグビーやアメリカンフットボール等の球技にも対応する球技場であり、さらには、コンサートや交流イベントの開催、広域的な防災拠点等、様々な活用方策を考えています。

また、亀岡のアユモドキにつきましては、既に人為的な補助なしで生息等が難しい状況であり、これまでから、農家の皆様のご協力を得て産卵環境を創出するなど、保護・保全対策を行っております。

過去には、特定外来魚の捕食により、アユモドキが激減したことがありましたが、地域の皆さんと協働して外来魚駆除など保護・保全対策を実施してまいりました。

アユモドキは、亀岡市の豊かな自然の象徴であり、すばらしい亀岡の魅力だと思っております。アユモドキよりも、大規模スポーツ施設の建設が優先されるべきだとは思っておりません。

同施設建設工事に当たりましては、生息環境に影響を与えないよう最大限の配慮を行うと共に、アユモドキが安心して生息できる野生動物保護区域（サンクチュアリ）を設けるなど、新たな生息環境の創出も含め、積極的な保全対策を講じることとしております。

今後、国、京都府や専門家の意見を聞き、市民を始め多くの皆さまのご理解とご協力を得ながら、中心市街地に隣接した場所での人と自然の共生を図ってまいりたいと考えております。

平成25年3月27日

亀岡市長

栗山正隆